

生活支援と創作活動～びわこ学園の実践から

2019年11月16日(土) 13:00～14:30
甲南大学 岡本キャンパス 10号館1階 10-14教室
聴講無料・申込み不要

びわこ学園医療福祉センター野洲では、130人ほぼすべての利用者を対象として粘土活動を実施しています。粘土活動を始めたのは1971年、粘土室を設置したのは1979年で、すでに50年近い歴史があります。

粘土での創作活動とともに、それぞれの利用者の状態・好みに対応するため、湯袋や大豆・菜種など様々な素材を使用した感触遊びを行っています。主体的に手が使えない重度の障害のある利用者に対しても、マッサージ的なかかわりなどを実施しています。創作物を含め、その一瞬の利用者の表情そのものが利用者の表現活動ととらえ、共にひびきあう活動を展開しています。

本講座では、びわこ学園での長年にわたる粘土造形活動を通じて、重度心身障害児／者に対する創作活動による発達支援の在り方について考えます。

講師：水津 哲 (びわこ学園医療福祉センター野洲 粘土室担当)
すいず てつ

1969年生まれ。鳥根県出身。1990年大学休学時にびわこ学園に出会い、そこで行われていた粘土活動に魅力を感じる。大学卒業後1993年、びわこ学園に就職し、生活支援員として利用者介護にあたる。

2012年より、田中敬三氏が創設し長年にわたって活動を続けてきた粘土室の担当となる。

画：水津哲氏



びわこ学園医療福祉センター野洲
粘土室外観



粘土室内の様子



モニターを見ながら足で粘土造形を行う
参加者(中央)を支援する水津哲氏(左)

KONAN プレミアプロジェクト「アートと発達支援」

お問い合わせ先 甲南大学 人間科学研究所 (担当：博士研究員 木下雅博)

Tel. / Fax. 078-435-2683

e-mail kihs@konan-u.ac.jp

人間科学研究所兼任研究員 大西彩子 a-onishi@konan-u.ac.jp

服部 正 hattori@konan-u.ac.jp

甲南大学岡本キャンパス 〒658-8501 神戸市東灘区岡本 8-9-1

阪急「岡本」駅より徒歩約10分、JR「摂津本山」駅より徒歩約12分

